

東京形成に寄り添いインプラント臨床を高めた最高顧問の逝去における

施設長の弔辞です

ああ小嶋榮一先生！突然の訃報を奥様から頂きました。

WHAT MATTER YOU 一体どうした事か？！先だって学会が開催する懇談会に共に出席したばかりではありませんか？！日本口腔インプラントの歴史を検証の会に生き字引としての招集で凛として鮮明に語り日本のインプラント学のレジントの存在を表し、列席していた宮崎隆理事長先生らが貴重な歴史のお話と！しっかりと記録を取って感激されています。その懇談会を終えて大門までしっかりと歩いて奥様と一緒にタピオカのカフェオーレをうまいうまいと飲んでいたのでついさきまの先だつてでした。

訃報の一日前に角界の東部屋先代高見山親方の後援会を務め。先代の親方家族も主治医でもあり交流が深い事はあまりにも有名です高見山親方の弟子親方の催事があり御一緒にと声をかけたばかりでした。ほんとうに突然の事に驚きは隠せませんでした。

私どもは巨匠と言うおおきな支えを失ってしまいました。未だ途上にあるインプラント学に対して、私たちは今後どうしたらいいのでしょうか？！しかし今まで先生がよく話していた座右の銘“師資継承”を思い出します。私にとっての先生は55年前に村田博先生や乙部朱門先生に師事し厳しくワンマンな両先生にしっかりと支えている姿を拝見し、また国際学会活動で日本人としては迫力ある容貌と人を引き付

けるオーラ——と物怖じしない講演は、私どもの目標でした。それも日本の中心の銀座を見渡せる一等地ランドマーとの世界貿易センターで開業はどれだけ、若き齒科医の憧れであり目標だったでしょう。

そのような立場で学会においてバランス感覚に優れた齒科界の後継者に目を配っていただきました。

私は、その指導を受けた一人として出会いは50年前弥生会館で開催されたアジアインプトアカデミーが開催されたとき当時黒山光巖生率いる東京形成がお世話をした時に、アトラクションで日本民謡を家内にもお願いしても催した時に、目に止まった様です。その後地元の関係でもあり、私の親戚一同日大出身者も多い事から、大変目にかけていたとき、共に世界のインプラント学会に参加し世界の巨匠達と愛称で呼び合う多くの巨匠に紹介して頂き、そこから私は、国際的な活動を頂いたことになりました。常に先生を目標に精進してきました。またお家族との深い関係となつたきっかけは、小嶋宅のとなりに衆議院の浜野剛先生の自宅があり、浜野衆議員の後継者として選挙に指名されたときにさかり登ります。事情があり孤立状態で選挙活動をしていた時に事情を知って赤羽の駅で誰もいない所に小嶋先生と奥様と御家族がぼつんと私を優しく見つめてくれました。

この時の思いは、誰も支援をしてくれない状況の地獄に仏に見えた事でした。その後も御嬢様家族を私どものマンションに送ってくれた支援などの縁がありました。本当に優しくヒューマニズニに振れた家族と感じたこ

とがきっかけでした。此の女系家族から、不面の顔にに就かない優しさが生まれているのだと感じました。選挙後もインプラントに生きてゆくんだと一緒に活動を共にしてきました。

この吐出した人間を何時も見舞載っていただいたことは、決して忘れる事の出にない大切な人恩人でした。小嶋榮一先生ありがとうございました。

お約束の葬儀に共に楽しんだ愛楽曲をマイク真木のバンド玉さんにお願いしました。おき聞きくださっていますか？最後に先生の得意とした三つのパフォーマンスでお別れします。

小嶋榮一先生速く逝ってバカヤロー！！ 小嶋榮一先生万歳！！先生が良くやる乾杯後発声ならぬ御返杯で小嶋 榮一返杯！！安らかにさようなら……………

令和元年一二月二三日

奥寺 元